

児童館 だより

行事の詳しい内容は児童館にお問い合わせください。
市ホームページに児童館だよりを掲載しています。



新型コロナウイルスの感染拡大防止のための大切なお願いとお知らせ

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・手洗い、手指の消毒、検温、受付用紙記入の後、遊んでください。
- ・かぜ症状の人、体調の悪い人は利用できません。
- ・学校が休校になった場合、小・中学生・高校生の利用はできません。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむを得ず行事を中止する場合があります。

東児童館 ☎248-5203

開館時間／午前9時～11時30分
午後1時～4時30分
休館日／月曜日、第2日曜日、祝日

プラバンと アイロンビーズであそぼう

とき 8月1日(日)～29日(日)
午前9時30分～11時

対象 誰でも参加できます。
(幼児は保護者同伴)
参加者が多いときは人数制限をする場合があります。

内容 自分の好きなデザインでプラバンかアイロンビーズを作ります。月の前半と後半で内容がかわります。

・プラバン
8月1日(日)～15日(日)

・アイロンビーズ
8月17日(火)～29日(日)

参加費 無 料
※申し込みは不要です。
※材料がなくなり次第終了します。
※休館日にご注意ください。



泉ヶ丘市民センター 児童館 ☎248-3453

開館時間／午前9時～11時30分
午後1時～4時30分
休館日／月曜日、第2日曜日、祝日

虫よけスプレーを つくろう

とき 7月25日(日)
午前10時～11時30分

対象 4歳～中学生(幼児は保護者同伴)
10人

内容 好きなアロマの香りを選んで、天然素材を使った、体に優しい虫よけスプレーを作ります。

参加費 200円

申込期間 7月10日(土) 午前10時～
16日(金)まで(休館日を除く)

申込方法 本人または家族が児童館窓口か電話でお申し込みください。
7月17日(土)に抽選を行ない、各家庭にお知らせします。



西児童館(ふれあい館内) ☎242-7008

開館時間／午前9時～11時30分
午後1時～4時30分
休館日／日曜日、祝日

キッズフェス 『ピエロッカー座』がやってくる

とき 8月8日(日)
第1部 午前10時30分～11時30分
第2部 午後1時30分～2時30分

対象 市在住の3歳以上18歳までの子どもと保護者。第1部、第2部とも各35人
※小学生以上は子どものみの参加ができます。

内容 操り人形と楽器をくみあわせた大道芸です。見る人の心を優しく満たしてくれます。

参加費 1人 100円

申込期間 7月19日(月) 午前9時～29日(木)正午まで(日・祝日は除く)

申込方法 電話でお申し込みください。
7月29日(木)に抽選を行ない、各家庭にお知らせします。
※変更などがある場合は、社協ホームページでお知らせします。



ヴィーブル&コミュニティ情報

申し込み・問い合わせ先 **ヴィーブル ☎248-5555**
トレーニングルームは点検のため、7月31日(土)は休みとなります。

7月の市民講座 前向きに生きる講座

7月は本年度の市民講座の開講式として、社会を明るくする運動のご紹介と、国際社会共通の目標である“SDGs”について知ること、考えること、取り組むことのきっかけになる講座です。
皆さんお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

- ▶ **と き** 7月30日(金) 午前10時15分～
受け付けは午前9時45分～
- ▶ **と ころ** ヴィーブル文化会館
- ▶ **参加費** 無料
- ▶ **内 容**
- ①開講式 社会を明るくする運動
菊池地区保護司会、市更生保護女性会の活動紹介
 - ②前向きに生きる講座
演題 SDGs(持続可能な開発目標)について
～自分にできることを考えてみよう～
講師 神田 みゆきさん
(NPO法人 SDGs Association 熊本)
- ※当日はマスクを着用し、筆記用具をお持ちください。

▶ **申込方法** 生涯学習課窓口でお申し込みください。
※事前に申し込みができなかった人も当日会場での申し込みができます。



神田みゆきさん

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

こころし歴史発見

第72回

文化財 八反原遺跡

所在地 合志市合生
時代 縄文時代・弥生時代・古墳時代・奈良時代・平安時代

八反原遺跡は、平成2年10月から9カ月間発掘調査を行ない、いろいろな時代の遺物が出土しました。(写真1) 縄文時代後期(約3500年前)の縄文時代晩期(約2300年前)にかけての縄文式土器や斧、鏃などの石器、土偶も出土しました。

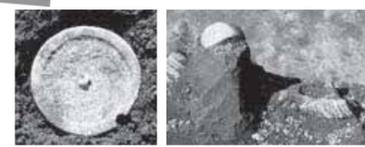
弥生時代中期(約2000年前)の甕棺、弥生時代後期(約1800年前)の竪穴住居跡と集落を外敵から守るための周囲の壕が見つかりました。住居跡からは、青銅鏡(内行花文鏡)(写真2)やガラス玉、石器、鉄器、弥生式土器が多量に出土しました。

古墳時代の遺構では、古墳、石棺などが確認され、そこからは人骨、ガラス玉や管玉などの副葬品、武器などの鉄器、葬送や儀礼の時に使った須恵器の酒器など、各種完全な土器が出土しました。古墳の溝からは一緒に埋葬したと考えられる馬の歯も出土しました(写真3)。

古代(奈良・平安時代)の遺構では、竪穴住居跡が発見されました。遅くとも縄文時代後期にはこの地域で人々が生活を開始し、弥生時代から



(写真1) 遺跡全体の航空写真



(写真2) 内行花文鏡 (写真3) 馬の歯出土状況

平安時代までの長い期間、生活の場として利用されてきたことが分かります。特に、古墳時代の馬具のくつわ(馬の口にとりつけるもの)は九州でも初期のもので、馬の埋葬なども含め渡来的な要素が色濃く、注目されます。この遺跡は、当時の集落の形態や古墳の変遷などを知る貴重な遺跡です。出土した遺物は、市歴史資料館で展示しています。

● 問い合わせ先(ヴィーブル) 生涯学習課 生涯学習班 ☎(248)55555